

# PICK UP EVENT

## 無鄰菴 正月開場

### 正月特別ガイド

2025年 1月1日(水)、2日(木)、3日(金) 9:05-16:30

料 金 無料 毎時5分/30分に開催、各15分間

### 特別限定茶菓子とお抹茶

2025年 1月1日(水)～5日(日) 9:00-17:00

料 金 1,200円/人(※喫茶付入場券をお買い求めください)

晴れやかな年の始まりを無鄰菴でごしませんか？お正月らしい特別限定茶菓子とお抹茶(数量限定)をいただけるお茶席や、1年に1度しか聞けない特別なお庭のガイド(15分間)、お庭が最も美しく眺められる視点場での華やかなお香の演出など、日本文化と季節のしつらえをたっぷり味わっていただける催しをご用意しています。何よりも元日の清らかな空気に包まれた日本庭園は格別な雰囲気。初詣と併せて、ぜひお越しください。



## 無鄰菴 山茶忌

2025年 2月1日(土) 14:00-15:00

料 金 4,000円(入場料、喫茶代込み)

定 員 15名(要予約)

無鄰菴の施主・山縣有朋公の命日は2月1日。無鄰菴では毎年この日を、有朋公が愛した椿にちなんで「山茶忌(つばき忌)」と名づけ、思いを馳せる企画を開催しています。有朋公の直筆のお軸と椿のしつらえが美しい部屋から、おりん奏者・村木悦子さんの奏でる清らかなおりんの音色が広がりゆく庭を愛でると、往時の有朋公が現れるよう。椿にちなんだ千本玉壽軒特製の主菓子とお抹茶をいただきながら、心静かなひとときをおすごしください。



昨年の山茶忌の様子はこちら→

## 〈無鄰菴とは〉



【造営】1896年 【施主】山縣有朋 作庭：七代目小川治兵衛  
【特徴】東山を借景にした庭が至極美しい。  
近代日本庭園の傑作。明治の京都、庭、南禅寺界隈の静けさを味わう絶好の場所。琵琶湖疏水のせせらぎを180度味わえる庭園カフェもオープン。  
季節のイベント実施中！

- ・無鄰菴は南禅寺界隈別荘群の中でも最初にできた別荘庭園。
- ・東西に延びる敷地の西側に母屋・洋館・茶室があり、庭越しに東山の借景を望めます。
- ・琵琶湖疏水を活かした浅く躍動的な流れと、広々とした明るい芝生の空間が特徴。
- ・モミジ林にはこの上なく美しい苔のじゅうたんが広がります。

### —無鄰菴の英語ガイド

毎月第2・第4水曜日に英語で無料の庭園ガイドを実施しています。開始時間は15:30～/16:30～、所要時間は約10分。予約不要。  
ガイドを実施できない場合もあるため、無鄰菴管理事務所にお問い合わせください。

### —Murin-an Explained in English

On every second and fourth Wednesday, we have free explanations of the garden in English. Start times are 11:30 and 12:30, and explanations take about ten minutes. No reservations required.  
There are some days when we are not able to offer English explanations, so please inquire with the Murin-an Management Office if you are interested.

### —人数限定入場について

- ・無鄰菴へのご来場は時間毎の入場制(事前予約優先)とさせていただきます。
- ・1時間ごと、毎時0分にご入場いただけます。滞在時間に制限はございません。
- ・当日お越しいただき、入場枠に空きがない場合はご入場いただけませんので事前のご予約をおすすめいたします。
- ・10分間無料ガイドが基本入場料に含まれます。

無鄰菴では、文化財である施設を今後も良い状態で保存・公開していくため、引き続き入場人数を限定した公開とさせていただきます。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

その他、行政などの指示により、臨時閉場とさせていただきます。開場状況につきましては、無鄰菴公式HPでご確認いただくか、施設にお問い合わせくださいませ。

### —ご予約方法



←無鄰菴 来場予約はこちら  
インターネットをご利用にならない方は、お電話075-771-3909より受付しております。スムーズなお手続のため、できるだけ公式サイトからお申し込みいただけますとありがたく存じます。

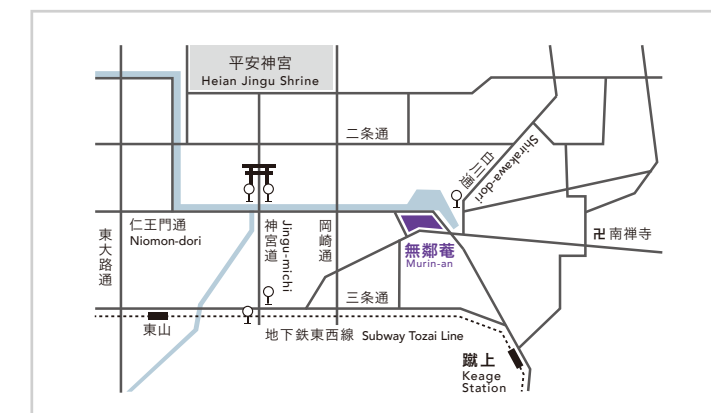
お電話 075-771-3909  
無鄰菴管理事務所 Murin-an Administrative Office  
〒606-8437 京都市左京区南禅寺草川町31番地  
31Nanzenji Kusagawa-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8437

## 庭園メンバーズ ニュースレター会員

毎月、庭園の情報をお知らせするニュースレターを配信。限定イベントも。

登録受付中！ 入会費・年会費無料

参加施設 無鄰菴、岩倉具視幽樓旧宅、梅尾山 高山寺、三溪園  
申込方法 無鄰菴管理事務所までお電話または無鄰菴ウェブサイトよりお申込。  
[QR Code]



### —交通のご案内

- 京都市営地下鉄東西線「蹴上駅」から徒歩約7分
- 京都市バス「神宮道」または「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩約10分
- 京都市バス(京都岡崎ループ)「南禅寺・疏水記念館・動物園東門前」下車、徒歩 約4分
- タクシーJR「京都駅」より約20分

※駐車場はございません

—開場時間 ※最終入場は、閉場時間の30分前まで。

4~9月	9:00~18:00
10~3月	9:00~17:00

### —入場料

【繁忙日以外】	600円
【繁忙日】	A 900円 4月1~14, 27~30日 5月1~31日 9月28~30日 10月14~21日 11月1, 4~8, 11~14日 12月1~7日 3月29~31日
	B 1,300円 11月2, 3, 9, 10, 15~30日

※市内在住の70歳以上の方、障がい者手帳等保持者、未就学児は無料  
繁忙日料金制により、購入いただくタイミングにより上記から価格が変動する可能性があります。入場券をご購入いただく際は、最新価格をご確認の上、お買い求めください。  
【条例に関するお問い合わせ窓口】京都市文化市民局文化財保護課 075-222-3130

### 【ご注意】

- ・施設保存のため、見学ルートはスタッフの案内に従ってください。
- ・場内での撮影については、事前の申請をお願いしております。撮影をご希望の方は、管理事務所までお問い合わせくださいませ。

無鄰菴指定管理者 植彌 植彌加藤造園株式会社 Ueyakato Landscape  
[Logo]

庭に集い、庭をはぐくむ  
無鄰菴

2024 AUTUMN - 2025 WINTER

# さらさら通信



## Japanese Garden Training Program

### 文化財の保存に貢献する活用に、無鄰菴はとりくみ続けます。

無鄰菴は、2016年度から文化財の保存に貢献する活用の取り組みを実施してきました。この取り組みでは、無鄰菴だけが持つ価値をわかりやすく伝え、もっと深く味わうために繰り返し訪れていただくことを目標にしています。  
頻繁には足を運ぶことができない方々とも無鄰菴の日々の活動を共有したく、ここに「庭と庭園文化をはぐくむ」無鄰菴の取り組みをまとめました。  
これからは無鄰菴は庭をはぐくみ、様々な体験イベントや市民の皆さまにご参加頂く提案型ボランティア制度(フォスタリング・フェロー制度)などを続けます。ぜひ繰り返し訪れて、無鄰菴をお愉しみください。また、すぐには足を運べないときも、無鄰菴を見守って頂ければ幸いです。

### Murin-an continues to strive for garden activation that contributes to cultural property preservation.

Since 2016, Murin-an has offered garden activation programs that contribute to cultural property preservation. These programs aim to communicate in easily understandable ways the value that only Murin-an has, so that people will visit again and again to enjoy Murin-an even more deeply.  
But we also want to share Murin-an's daily activities with those unable to visit frequently. Hence, we here present Murin-an's efforts to nurture gardens and garden culture. Murin-an will continue nurturing its garden while also offering a wide-range of experience-based events and its volunteer program ("Fostering Fellows") incorporating suggestions and participation from the public. Please come and enjoy Murin-an again and again. And if you are unable to visit soon, we hope you will keep up with Murin-an even from afar.

無鄰菴指定管理者 植彌加藤造園

Murin-an Designated Manager, Ueyakato Landscape, Co. Ltd.

design: Masae Kobayashi

無鄰菴では、このほかにも様々なイベントを実施しています。詳しくは無鄰菴WEBサイト、SNSをご確認ください！



夜間ライトアップ付き  
プライベート利用  
受付中  
・時間：閉場後～22時まで  
・料金：30万円税込  
・申込：ご利用日の1ヵ月前まで



# 外国人研修生の受け入れ Japanese Garden Training Program



2024年4月22日、無鄰菴の指定管理者である植彌加藤造園による外国人向け実地研修が行われました。この研修は5日間のプログラムで、無鄰菴を訪れたのは2日目です。初日に実施された日本庭園における周辺環境を取り込む空間性と、庭園管理の重要性に関する講義に基づいて、庭園管理の実地研修が実施されました。

参加者はイギリス、アメリカからのお二人。無鄰菴の歴史的背景や琵琶湖疏水から引いた水の流れ、東山の借景といった特徴から、その空間をどのように形作っているかという管理面のポイントまで、じっくりと時間をかけて見学しました。

その後、庭園管理で使用する道具の説明があり、足袋に履き替えていざ管理実習へ。今回の研修は「京都の環境と日本庭園」をテーマとして、京都で培われた庭園の美意識を共有することが目標とされていました。滝の周辺では、施主・山縣有朋の指示によって滝の周辺に意図的にシダが植栽されていることをふまえ、どの程度シダを残すのが「自然らしく」仕上がるのか、吟味しながら「無作為の作意」を学びます。

「無作為の作意」とは庭師の心得のひとつで、さも人が手を入れていないかのように、まるで自然のまま

であるかのように見せる庭園管理上の意図を指します。誰も手を入れていない自然のままの姿のように見えるけれど、実際にはきめ細やかな管理が行われている。無鄰菴では、庭園の本質的価値をふまえて、この心得を実践することができました。

滝周辺の植栽整理の後、この時期ならではのお手入れである「松の芽摘み」も少しだけ体験しました。この作業が京都特有のお手入れであること、すっきりとコンパクトな姿を保つための作業であることを説明し、無鄰菴でこの春最初の松の芽摘みにかかります。短時間で黒松1本の芽摘みを終え、参加者は摘み終えた松とまだ作業されていない芽が伸びた松と比較して、作業後の松が美しい姿であることを実感されていました。

植彌加藤造園は、海外で日本庭園に携わる職人の方々に技術を伝えることを目的として、今後も年に1回の研修を実施する予定です。詳細は植彌加藤造園のWebサイトをご覧ください。



<https://ueyakato.jp/en/garden-management/training-program/>  
※英語ページにのみ情報を掲載しています。ご了承下さい。

On April 22, Murin-an's designated management company Ueyakato Landscape began a hands-on Japanese garden training seminar for foreign participants. The second day of this 5-day training program was spent at Murin-an. Based on the first day's lecture explaining how Japanese gardens incorporate the space of their surrounding environment and the importance of garden management, participants helped order Murin-an's plants and removed candle buds from its pine trees.

Considering the deliberate instructions of Murin-an's original owner Yamagata Aritomo to plant ferns around its waterfall, seminar participants thought about how many ferns should be left in place to evoke a waterfall's natural look. This taught them one of the basic concepts of Japanese gardening; musakui no sakui. This key insight can be translated into English as "the art of artlessness," "contriving the uncontrived," or the "intention of non-intention," but it signifies the intention in garden management to display scenery as naturally as possible, as if no work had been done at all. By basing themselves upon Murin-an Garden's intrinsic value, these participants were able to put this lesson into practice.

## EVENT REPORT

### 無鄰菴会議の日 Murin-an Conference Day

今年参加された方々はとても幸運！修繕に入る前の金碧障壁画を光の下で見られる最後の機会となった「無鄰菴会議の日」をレポートします。

今から約120年前の4月21日。無鄰菴の洋館2階で山縣有朋のもと当時の政治の中枢を握っていた政治家3人が集まり、南下するロシアへの対策を話し合いました。この日を記念して毎年4月21日に開催しているのが「無鄰菴会議の日」です。

スタートは洋館の1階から。まずは無鄰菴の主任学芸員・重岡が洋館の概要や無鄰菴会議について解説。東京ではなく京都のこの場所で会議が開かれた理由など、教科書には載らないエピソードを交えた話で歴史が実在の息吹をおび始めました。

そしていよいよメインイベント。無鄰菴会議が行われた2階洋間へ。参加者の皆さんがカメラを構える中、普段は保存のために閉じられている罫戸が開け放たれます。曇り空のやわらかな光に浮かびあがる金碧障壁画。普段立ち入り禁止の区域から金碧障壁画を間近に見た皆さんから感嘆の声が！

この金碧障壁画は出自がはっきりわかっていません。しかし、最近有力な手がかりが出たことや修繕によって謎が解けるかもしれないことなどを重岡が話すと、皆さんは胸を躍らせていらっしゃいました。

6月より始まった修繕は、金碧障壁画を東側から順次1枚ずつ剥がして行われている最中です。修繕期間は損傷の具合によって変わるため、来年、このイベントを開催できない可能性があります。今回ご参加の皆さんは、光に照らし出された修繕前最後の姿を見られる貴重な機会に立ち会うことができました。



It happened around 120 years ago on April 21. On the second floor of Murin-an's western-style building, three of Japan's foremost politicians joined Yamagata Aritomo to discuss what to do about Russia's southward advance into Asia. This was the Murin-an Conference.

On the western-style building's first floor, event participants heard a talk from Murin-an's head curator explaining the western-style building and the Murin-an Conference. Thereafter, they headed upstairs to the second floor. Window shutters usually kept shut for preservation purposes were opened, allowing the gold foil wall painting to shine brightly under the sunlight. Entering areas typically closed to the public, participants let out amazed exclamations as they gazed at the wall painting up close. Repair work for this gold foil wall painting started in June 2024. That means we may not be able to hold this event next year. This year's participants thus got to enjoy an invaluable opportunity.